

地球環境や地域社会に配慮した 取り組みを推進 ~三菱商事の環境・CSR活動~

三菱商事では、企業理念「三綱領」を全ての企業活動の基礎と位置付け、地球環境や地域社会に配慮した取り組みを推進しています。環境・CSR活動においては、ステークホルダーの皆様と継続的に対話し、その声を一つずつ反映していくことが責務であると考えています。今号では、ビジネスを通じた取り組みと国際貢献活動に関する取り組み事例をご紹介します。



ビジネスを通じた取り組み

本業を通じた継続的・社会的価値・環境価値の創出を目指し、事業活動のあらゆる側面において取り組みを積極的に推進しています。

ビジネス案件 に対する ESG管理

ビジネス案件を検討・推進する際には、経済的側面だけでなく、ESG（環境、社会、ガバナンス）の観点重視し、総合的に審議・検討を行っています。具体的には、環境面・社会性面の審査にあたって、環境・社会・健康影響評価報告書のレビューや現地視察に加え、国際金融公社のガイドラインや、国際協力銀行の「環境社会配慮確認のための国際協力銀行ガイドライン」などを参照しています。

人と環境に配慮した mozo wonder city



三菱商事が開発に携わり、2009年4月に開業した「mozo wonder city」（名古屋市西区）は、テナント数約215店、駐車場台数約5,000台を擁する都市型ショッピングセンターで、「人と環境に配慮したショッピングセンター」をスローガンとして掲げています。

高効率な空調設備の導入や合計約1,700㎡に及ぶ建物外壁面の緑化などにより建物の圧迫感軽減やCO₂の削減などの環境負荷低減を実現しています。また、ユニバーサルデザインの採用やショッピングセンターの敷地内を通学路として地域に開放するなど、さまざまな取り組みを行っています。



高品質・サステナブルな コーヒーを世界へ

Rainforest Alliance認証
ロゴ付の麻袋



ブラジル・サンパウロ市の北西約300kmに位置する世界最大級のコーヒー単一農園、イパネマ農園（三菱商事20%出資）は、コーヒー豆の品質の高さが世界的な評価を得ているだけでなく、自然環境や労働環境に配慮したオペレーションを行っているとして一定の基準を満た

した事業者と与えられる、Rainforest AllianceやFair Trade USAなど主要認証を取得しています。

また、同国においてコーヒー輸出を行うMC Coffee do Brasil（三菱商事100%出資）では、小農家に対しFairtrade認証取得の支援を行っており、現地生産者からの信頼は厚く、同社のFairtrade認証コーヒー取扱量はブラジル有数の規模となっています。

今後も、高品質なコーヒー豆を供給するだけでなく、サステナブルなコーヒー事業の構築を目指していきます。



イパネマ農園の風景

国際貢献活動

三菱商事がビジネスを展開する国や地域において、
現地のニーズに即した社会貢献活動を実施しています。

衛生状態の改善へ インドの農村開発を支援



2015年8月、インド連邦共和国のスワミナタン研究財団をパートナーとした農村開発支援を開始しました。スワミナタン研究財団は1988年に設立され、インドにおける農業指導・貧困農村支援を長年にわたり展開しています。今回の支援では、同国東部アーンドラ・プラデーシュ州（AP州）の八つの貧困

農村に対し、対策が急務となっている安全な飲料水の確保やトイレなどの衛生設備の設置のほか、農業技術の指導に取り組むなど、衛生・生活向上等を目的とした包括的な農村開発プロジェクトを実施します。

三菱商事は同研究財団とともに、2008年にもインド東部オリッサ州における貧困農村支援を実施しており、同国における農村支援は今回で2回目となります。



AP州ビジャヤワダでの
調印式

ミャンマーにおける 貧困農村支援

ミャンマー最大の社会課題の一つである貧困農民の生活レベル向上に貢献することを目的に、国連プロジェクト・サービス機関（UNOPS）が運営する貧困農村支援ファンドであるLIFTへの参画、および国際協力NGOオイスカの活動支援を行っています。

LIFTは、欧米有志国の資金拠出により2009年に設立されたファンドで、NGOなどが進めるミャンマー国内での貧困改善活動を援助しています。三菱商事は、民間企業として初めてLIFTに参画しました。

オイスカは、同国の中でも環境が厳しく貧困

農村の多い中央乾燥地帯に研修センターを設立し、農業技術指導を通じた人材育成や地域開発協力などに取り組んでおり、1997年の設立以来、330余名に上る卒業生を輩出してきました。三菱商事は、研修センターの新增設支援を通じ、農業人材育成に取り組んでいきます。



オイスカが取り組む農業技術指導

大英博物館・スミソニアン博物館への協賛

三菱商事は、大英博物館「三菱商事日本ギャラリー」への支援活動を2008年から実施しています。また、2015年10月、新たに米国スミソニアン博物館の「フリーア&サックラー美術館」への寄附を決定しました。「三菱商事日本ギャラリー」と「フリーア&サックラー美術館」ともに、民間企業としてスポンサーを務めるのは初めてのことです。これらの支援を通じて、今後も欧州や北米における日本文化の発信に貢献していきます。

大英博物館 「三菱商事日本ギャラリー」

大英博物館の常設展示室「三菱商事日本ギャラリー」は、古墳時代の埴輪はにわから現代の漫画まで、約3万点の所蔵品の中から約300点を常時展示するなど、膨大な日本関連コレクションをそろえており、その規模は欧州最大です。



スミソニアン博物館 「フリーア&サックラー美術館」

米国ワシントンD.C.のスミソニアン博物館「フリーア&サックラー美術館」は、俵屋宗達や尾形光琳など、日本を代表する美術家の作品をはじめ、約4万点の東洋関連の美術品を収蔵しており、同博物館の日本展示の中心的存在となっています。



Photo of Freer Gallery of Art by Freer and Sackler Galleries staff photographer